

◎勝利の経典『御書』に学ぶ 上野殿御返事（水火二信抄）

十年、二十年と、わが人間革命の坂道を、使命の汗を光らせながら、粘り強く、一步一步、登り続けた人には、誰もかないません。

「不退」は、信仰の最高の勲章です。

民衆の大地で人を育てる人。人を幸福にする人。人を励ます人。地道に長年戦ってきて、さらに戦い進む人。すなわち地涌の庶民こそが、真実の人間の英雄であり、生命の勝利者なのです。

（『勝利の経典「御書」に学ぶ 21』74 ページ）

◎四条金吾殿御返事（此経難持の事）

「受くるはやすく、持つはかたし。さるあいだ、成仏は持つにあり。」

（御書新版 1544 ページ・御書全集 1136 ページ）

◎佐渡御書

「この文を、心ざしあらん人々は寄り合って御覧じ、料簡候いて、心なぐさませ給え。」

（御書新版 1291 ページ・御書全集 961 ページ）

◎新・人間革命 法旗の章

「私どもは、『水の信心』を貫いていかなければならない。では、そのために何が必要不可欠か——。

それは、組織です。人間というものは、また、凡夫というものは、どうしても一人だけになると弱くなり、我見に走ったり、精進を怠ってしまいがちだからです」

（『新・人間革命』第 26 巻 198 ページ）